

THREEUP

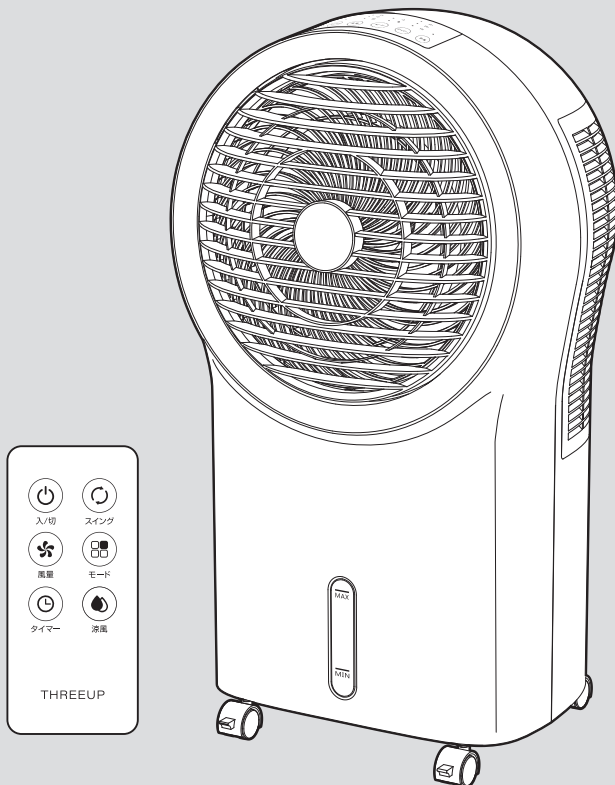
大風量*冷風扇

ジェットクールファン

RF-T2132

※「大風量」は当社従来品との比較です。

取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…………… 1~3
- 各部のなまえ…………… 4~5
- パッケージ内容…………… 5
- 別売品…………… 5
- 仕様…………… 5

ご使用の前に

- リモコンについて…………… 6
- 保冷タンクについて…………… 6
- 設置について…………… 7

ご使用方法

- 運転する(送風モード)…………… 8
- 停止する…………… 8
- 風量を切り替える…………… 9
- 風向きを変える…………… 9
- 自然風モードを使う…………… 10
- おやすみモードを使う…………… 11
- 涼風モードを使う…………… 12~14
- オフタイマーを使う…………… 14

点検・修理

- お手入れと保管方法…………… 15~17
- 製品や保冷タンクの
廃棄について…………… 17
- 故障かな?と思ったら…………… 18
- 長期使用製品について
の
ご注意…………… 18
- 保証・サービス…………… 裏表紙

はじめに

安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	----------------------------------	---	--------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	 	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気の多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。
屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショート、発火の原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。



禁止

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体に当て続けしないでください。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。
健康を害する原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。
異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。



必ず守る

警告

電源コードや電源プラグを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。



必ず守る

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がある。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

注意

本機は家庭用です。業務用として使用しないでください。

故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。

転倒、破損によるケガや事故の原因になります。



禁止



禁止

エアフィルターと吸水フィルターを取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまり、モーターの過熱や水の飛散による漏電や故障、水漏れの原因になります。

送風口や吸気口、通気口をふさがないでください。

衣類やカーテンなどで送風口や吸気口、通気口がふさがれると、故障の原因になります。

⚠ 注意

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

キッチンや工場などの油がはねる場所や、油煙が発生する場所では使用しないでください。

故障の原因になります。

付属の保冷タンクは、本機での使用以外の目的では使用しないでください。

運転中は本体を移動させないでください。

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンクの水を捨ててから移動してください。
- 水が入ったまま本体を強く揺らすと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

水タンクの中には水道水や氷以外のものを入れないでください。

- 一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- 40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- 満水ライン「MAX」を超えて水を入れないでください。水がこぼれて床を濡らす原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。

- 電極(+/-)を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
- 汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。



禁止

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

本機の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。

水タンクの水は2~3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

2~3日を目安に新しい水と入れ替えてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

長時間ご使用にならない場合や保管する際は、必ず水を捨てて、十分に乾かしてください。

涼風モード運転で氷を使う場合は、必ず水タンクに水を入れてください。

本体に結露が起きて感電や故障、床を濡らす原因になります。

ボタン電池は電極(+/-)の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。



必ず守る



接触禁止

送風口や吸気口、通気口、可動部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。

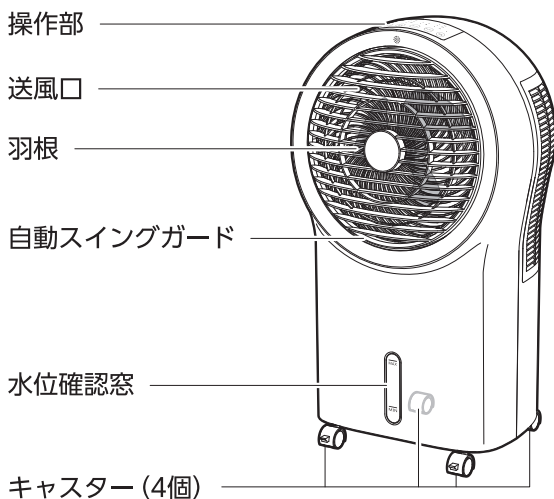


禁止

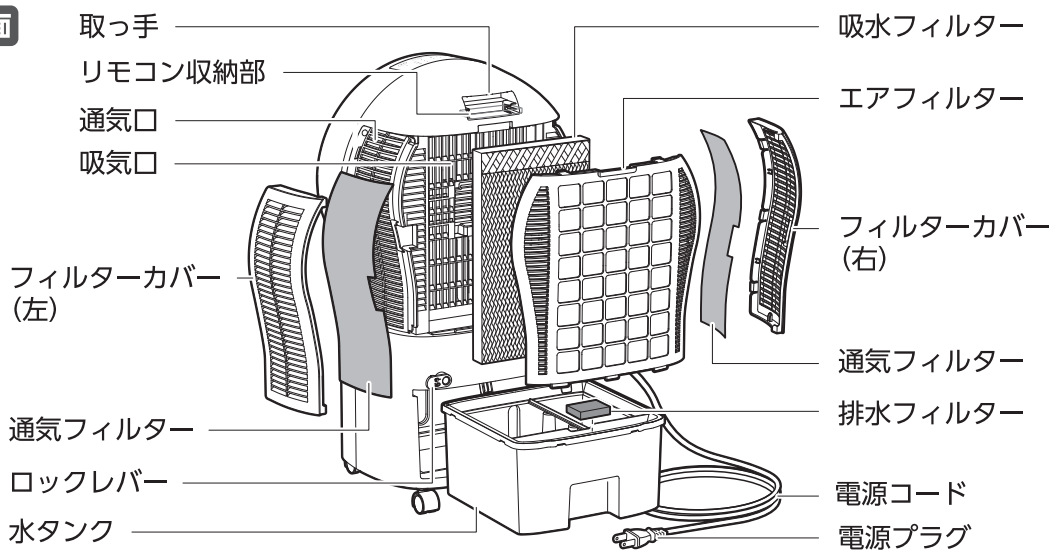
各部のなまえ

■ 本体

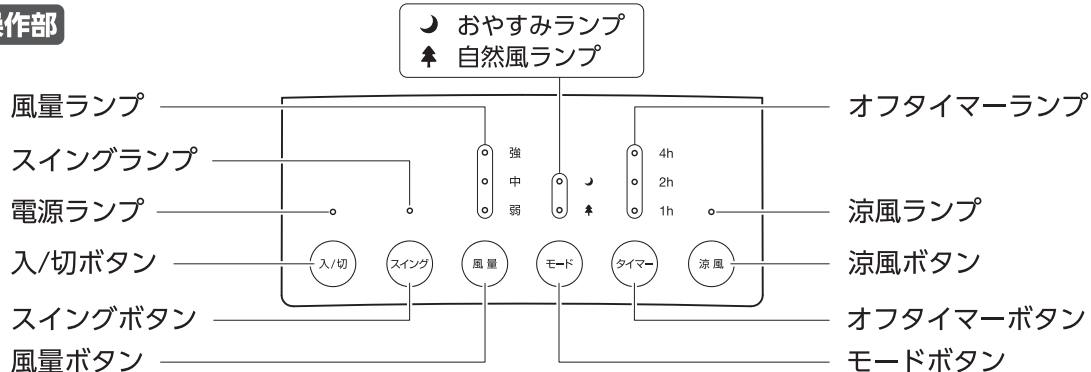
正面



背面



操作部



はじめに

■ 付属品

リモコン

送信部

入/切ボタン



入/切



スイング

風量ボタン



風量



モード

オフタイマー
ボタン



タイマー



涼風

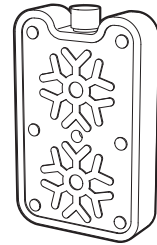
スイングボタン

モードボタン

涼風ボタン

THREEUP

保冷タンク



保冷タンクの品質表示

タンク材質	ポリエチレン
内容物	水、吸水性ポリマー

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	リモコン (CR2032電池内蔵)	1
取扱説明書 (保証書付き) 本書	1	保冷タンク	1

別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価 (税別)
吸水フィルター	1	1,500 円
保冷タンク	1	800 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

仕様

本体サイズ	幅38×奥行30×高さ70cm	本体重量	約6kg
材質	PS、PP	電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	50Hz/65W、60Hz/55W	風量	3段階切替 (強・中・弱)
オフタイマー	1~7時間 (1時間単位)	水タンク容量	最大6L
コード長	約1.5m	機能	自動スイングガード
運転モード	送風、涼風、自然風、おやすみ	1時間あたりの電気代	約1.76円 (65W連続運転時)

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

ご使用の前に

リモコンについて

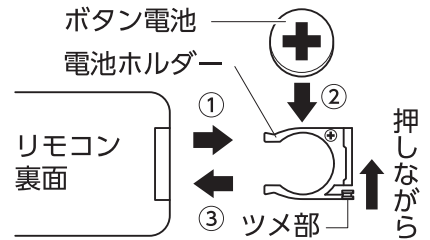
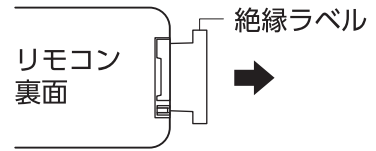
工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2032/3V」です。

- ①リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ②新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。

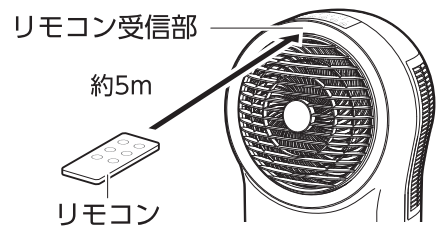


■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約5mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。

このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



保冷タンクについて

涼風モードで保冷タンクを使う場合は、冷凍庫に入れて凍らせてください。
保冷タンクは繰り返し使用できます。

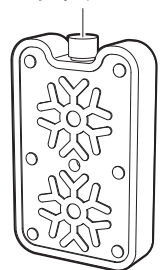
⚠ 注意



必ず守る

- 保冷タンクのキャップは絶対に外さないでください。
- 皮膚に付いた場合は、すぐに石けんと水で洗い流してください。
 - 飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
 - 目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

キャップ



ご使用の前に

設置について

本体背面の吸気口が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平で安定した場所に設置してください。

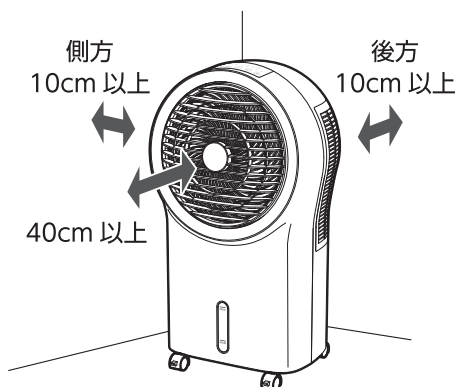
⚠ 注意



必ず守る

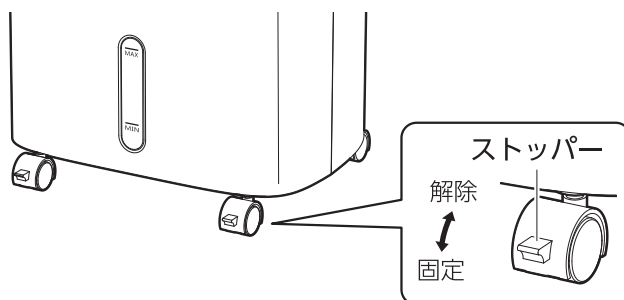
- 下図の設置距離を必ずお守りください。
- 設置時は必ずキャスターのストッパーで固定してください。
 - 本体の底面には移動用のキャスターが付いており、正面側のキャスターにはストッパー機能があります。
 - ストッパーで固定しないで設置したり、斜面に設置したりすると、予期せぬ移動により家財などを破損する原因になります。
 - 不安定な場所に設置すると、転倒や水漏れなどの原因になります。

■ 設置距離



■ キャスターのストッパー機能について

ストッパーを下げると固定されます。
ストッパーを上げると解除されます。



ご使用方法

運転する(送風モード)

警告



必ず守る

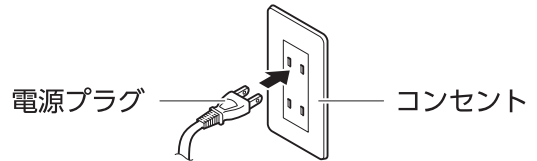
電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
ショートによる火災・感電の原因になります。



禁止

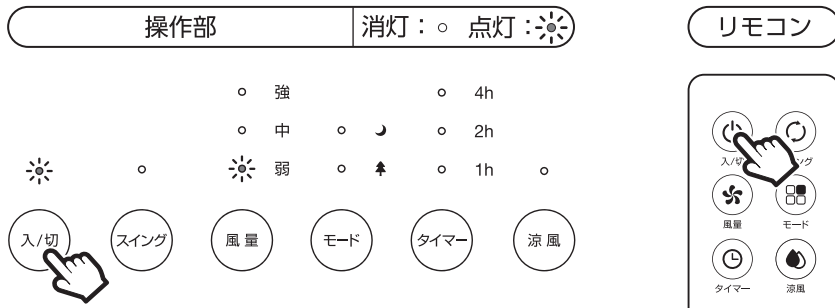
電源コードを束ねたまま使用しないでください。
過熱してやけどや火災の原因になります。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込むと“ピッピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
『電源』ランプと『風量』ランプ「弱」が点灯し、風量「弱」で運転を開始します。

- ボタン操作時は“ピッ”と電子音が鳴ります。
- お好みで風量の切り替え、スイング運転、オフタイマー、涼風モード、自然風モード、おやすみモード設定をしてください。



減灯機能

操作しない状態が約1分間続くと、操作部のランプは減灯します。

停止する

運転中に本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。
“ピーッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、運転を停止します。
ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メモリー機能

一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転します。
(オフタイマー設定、おやすみモードは除く)

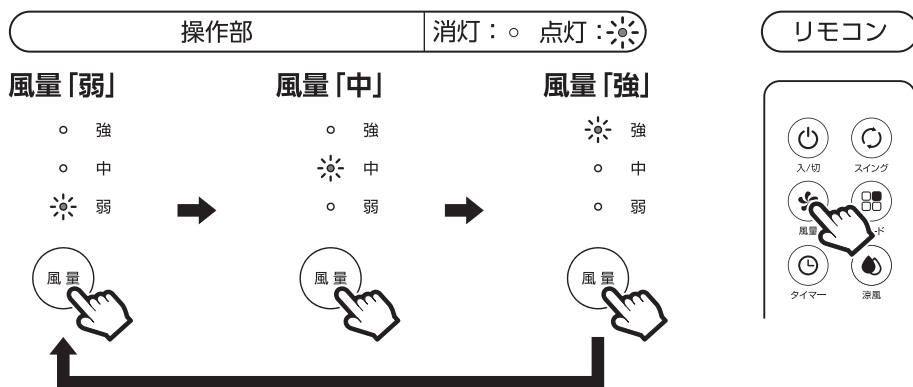
初めてご使用になるときや電源プラグを接続し直したときは、風量「弱」で運転を開始します。

ご使用方法

風量を切り替える

運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押します。

『風量』ボタンを押すごとに風量が切り替わり、風量の設定に応じて『風量』ランプが点灯します。



風向きを変える

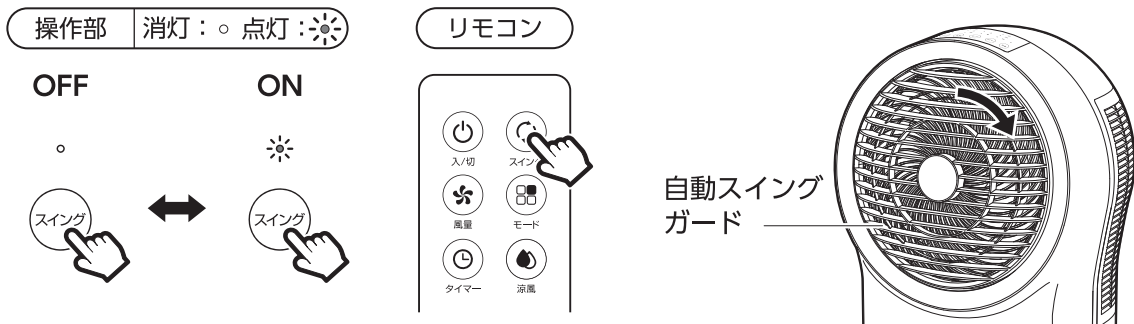
自動スイングガードを回転させると、風を広範囲に拡散させることができます。

運転中に本体またはリモコンの『スイング』ボタンを押します。

『スイング』ランプが点灯して、自動スイングガードが時計回りに回転をします。

スイング運転を解除する場合は、もう一度本体またはリモコンの『スイング』ボタンを押してください。

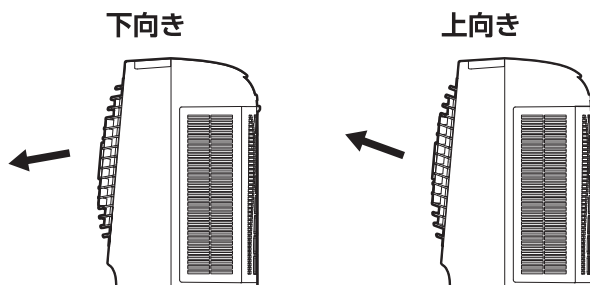
『スイング』ランプが消灯して、スイング運転を停止します。



メモ

自動スイングガードの向きによって送風角度が変わります。

お好みの風向きになるよう調節してください。

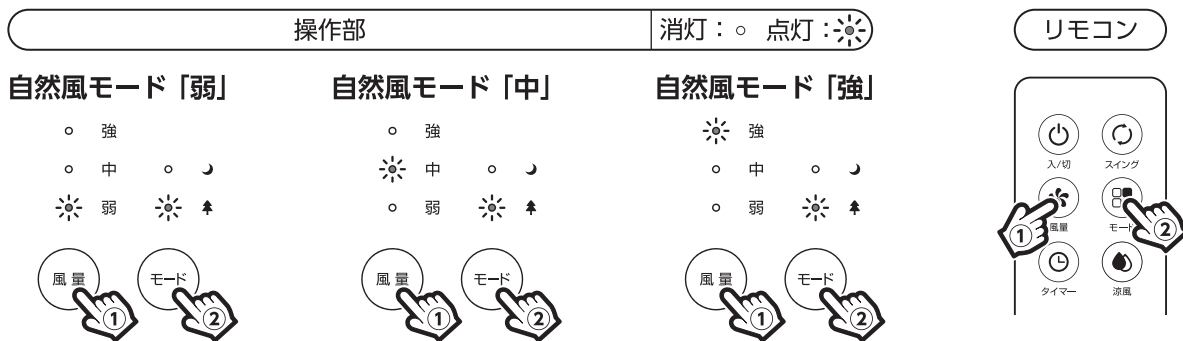


自然風モードを使う

- 時間毎に風量「強」、「中」、「弱」、「停止」がプログラムされた順序で風量が切り替わり、自然のそよ風をイメージした心地よい風で送風します。
- 風量の設定により、自然風モード「強」、「中」、「弱」の3段階の設定が可能です。
モード動作の詳細は、下記の「自然風モード動作の風量制御」をご確認ください。
- オフタイマー設定、スイング運転、涼風モードと組み合わせて使うことができます。

■ 自然風モードを設定する

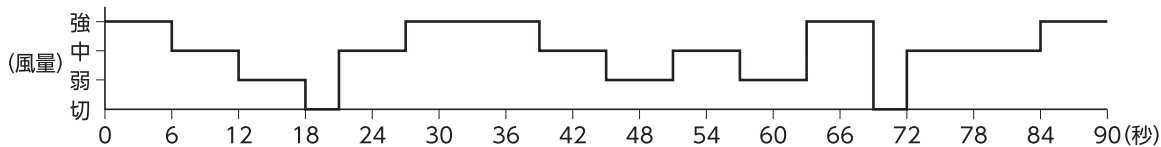
- ① 送風モード運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押して、お好みの自然風モード動作になる風量を設定します。
- ② 本体またはリモコンの『モード』ボタンを1回押します。
『自然風』ランプが点灯し、設定風量に応じた自然風モード運転を開始します。
自然風モードを解除する場合は、自然風モード運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを2回押します。
※『自然風』ランプの点灯中にも、風量の切り替えができます。



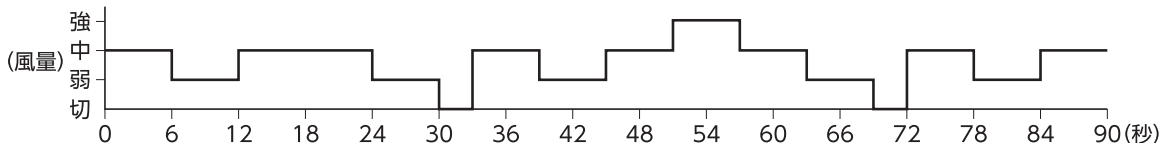
■ 自然風モード動作の風量制御

下記の動作を繰り返します。

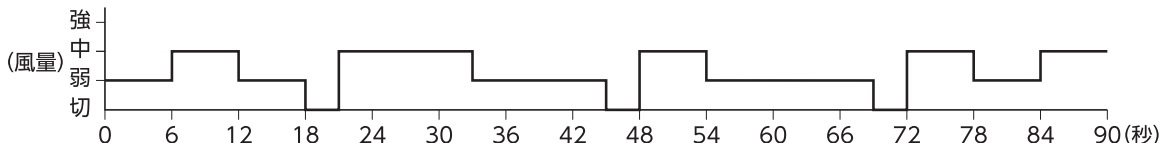
- 自然風モード「強」…(風量設定「強」)



- 自然風モード「中」…(風量設定「中」)



- 自然風モード「弱」…(風量設定「弱」)



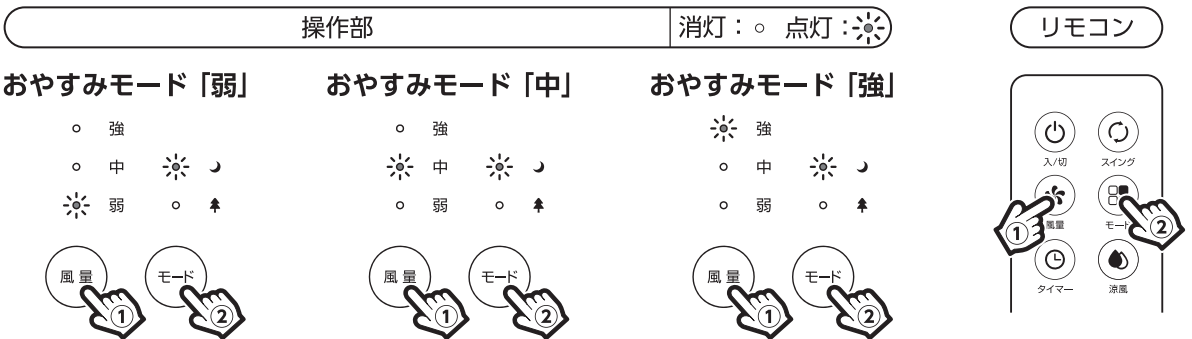
ご使用方法

おやすみモードを使う

- 時間毎に風量「強」、「中」、「弱」、「停止」がプログラムされた順序で風量が切り替わり、就寝時に最適な心地よい風で送風します。
- 風量の設定により、おやすみモード「強」、「中」、「弱」の3段階の設定が可能です。
モード動作の詳細は、下記の「おやすみモード動作の風量制御」をご確認ください。
- オフタイマー設定、スイング運転、涼風モードと組み合わせて使うことができます。

■ おやすみモードを設定する

- ① 送風モード運転中に本体またはリモコンの『風量』ボタンを押して、好みのおやすみモード動作になる風量を設定します。
- ② 本体またはリモコンの『モード』ボタンを2回押します。
『おやすみ』ランプが点灯し、設定風量に応じたおやすみモード運転を開始します。
おやすみモードを解除する場合は、おやすみモード運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを1回押します。
※『おやすみ』ランプの点灯中にも、風量の切り替えができます。



■ おやすみモード動作の風量制御

- おやすみモード「強」… (風量設定「強」)
自然風モード「強」で30分間運転→自然風モード「中」で30分間運転→自然風モード「弱」で連続運転します。
- おやすみモード「中」… (風量設定「中」)
自然風モード「中」で30分間運転→自然風モード「弱」で連続運転します。
- おやすみモード「弱」… (風量設定「弱」)
自然風モード「弱」で連続運転します。

メモ

おやすみモードの「弱」と自然風モードの「弱」は同じ動作になります。

涼風モードを使う

- 水タンクに水を入れて自然でひんやりとした心地よい風を送風します。水とあわせて氷または保冷タンクを入れると、涼風効果が高まります。
※送風のみで使用する場合は給水不要です。
※本製品はコンプレッサーで冷却するエアコンとは異なり、水の気化熱を利用して運転するため、部屋全体を冷やすことはできません。
- 先に水タンクに水や氷または保冷タンクを入れてから涼風モードを設定してください。
※水が入っていない状態で涼風モードを設定すると、「ゴロゴロ」とポンプの回る音がします。異常や故障ではありません。
- 換気のよい窓やドアの近く、直射日光の当たらない場所で使用するとより効果的です。
- エアコンの補助用として使用すると、効率よく部屋全体に風を送ることができます。

警告



必ず守る

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
また、電源プラグと電源コードを濡らさないように注意してください。
感電の原因になります。

■ 水タンクに水を入れる

- ① 本体背面から水タンクを取り出します。
 - a. 両側のロックレバーを外側に起こして、水タンクの固定を解除してください。
 - b. 水タンクを取り出してください。

注意

水が入った状態で水タンクを出し入れするときは、水タンクを水平にして、まっすぐ、ゆっくりと出し入れしてください。

勢いよく出し入れすると、水がこぼれる原因になります。

- ② 水タンクの水位表示を確認しながら、水道水を入れます。

- 水タンクの最大容量は6Lです。
- 「MAX」ラインを超えて水を入れすぎないでください。

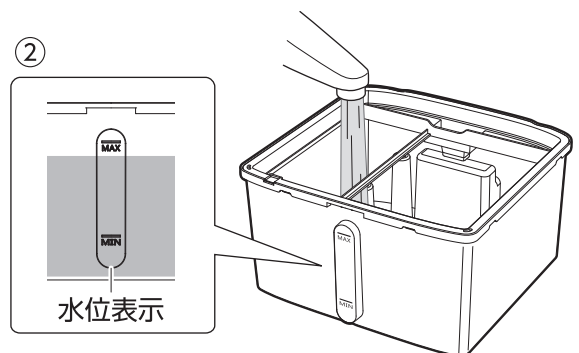
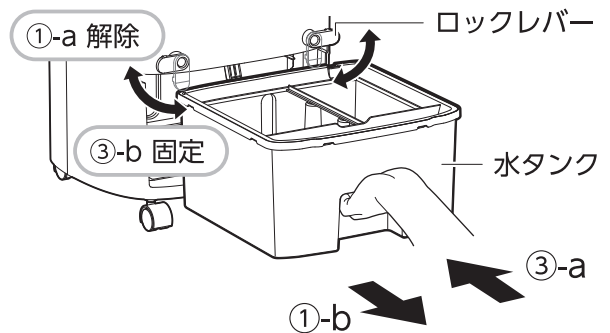
- ③ 水タンクを本体に取り付けます。

- a. 水タンクを取り付けてください。
- b. 両側のロックレバーを内側に倒して、水タンクを必ず固定してください。

注意

水タンクに水を注ぎ足す際や排水する際に水タンクを引き出すと、水路に残った水が吸水ポンプより流れ出てきます。

流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床がぬれる原因になります。



ご使用方法

■ 氷または保冷タンクを使う

① 保冷タンクを冷凍庫に入れて凍らせます。

② 本体背面から水タンクを取り出します。

- 両側のロックレバーを外側に起こして、水タンクの固定を解除してください。
- 水タンクを取り出してください。


注意

水が入った状態で水タンクを出し入れするときは、水タンクを水平にして、まっすぐ、ゆっくりと出し入れしてください。

勢いよく出し入れすると、水がこぼれる原因になります。


③ 氷または保冷タンクを水タンクに入れます。

⚠ 注意



必ず守る

氷と保冷タンクは、必ず水タンクの広い側（右図の左側）に入れてください。
「吸水ポンプ収納部」に入れると吸水ポンプに氷または保冷タンクが引っかかり、水タンクが取り出せなくなる場合があります。



禁止

氷を入れすぎないでください。
水タンクに結露が起き、床を濡らすおそれがあります。
本体の下にトレーなどを敷いて使用してください。
※トレーは付属していません。

メモ

水タンクに水が入っている場合は、水位表示の「MAX」ラインを超えないように排水してから、氷または保冷タンクを入れてください。

④ 水タンクの水位表示を確認しながら、水道水を入れます。

- 水タンクの最大容量は6Lです。
- 「MAX」ラインを超えて水を入れすぎないでください。

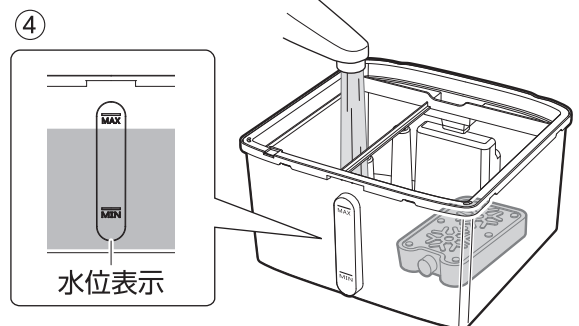
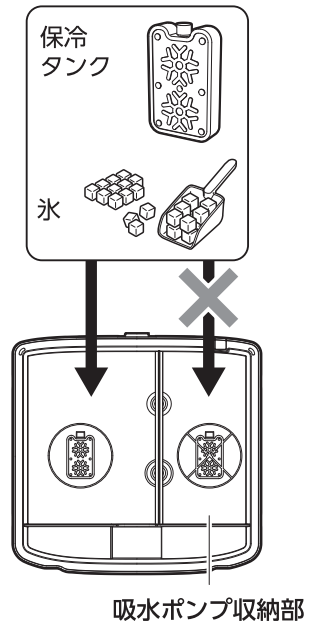
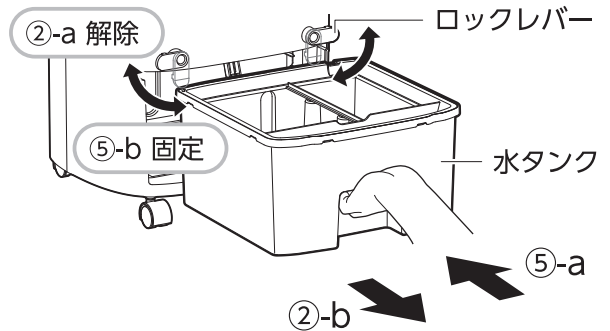
⑤ 水タンクを本体に取り付けます。

- 水タンクを取り付けてください。
- 両側のロックレバーを内側に倒して、水タンクを必ず固定してください。

注意

水タンクに水を注ぎ足す際や排水する際に水タンクを引き出すと、水路に残った水が吸水ポンプより流れ出てきます。

流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床がぬれる原因になります。

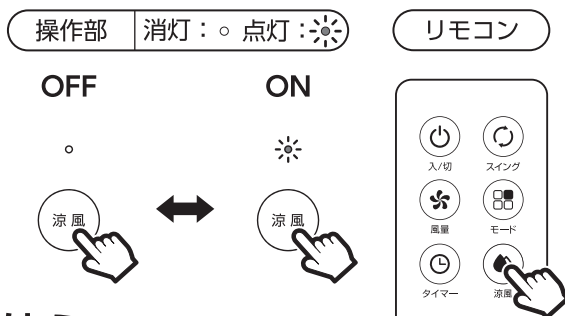


■ 涼風モードを設定する

運転中に本体またはリモコンの『涼風』ボタンを押します。

『涼風』ランプが点灯して、涼風モードに切り替わります。

- 涼風モードを解除する場合は、もう一度本体またはリモコンの『涼風』ボタンを押してください。『涼風』ランプが消灯して、送風モードに切り替わります。
- 涼風モードのご使用時は、水を吸い上げるためのポンプが作動しているため、水を吸い上げる音(キュルキュル音、キュー音)がします。不良や異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 水タンクに水が入っていない時に『涼風』ボタンを押すと、約50秒後に「ピーッピーッピーッ…」と警告音が鳴って『涼風』ランプが消灯します。
- 水タンクの水が水位表示の「MIN」を下回ったら給水をしてください。そのまま使用し続けて水を吸えなくなる水位まで低下すると、「ピーッピーッピーッ…」と警告音が鳴ってお知らせします。



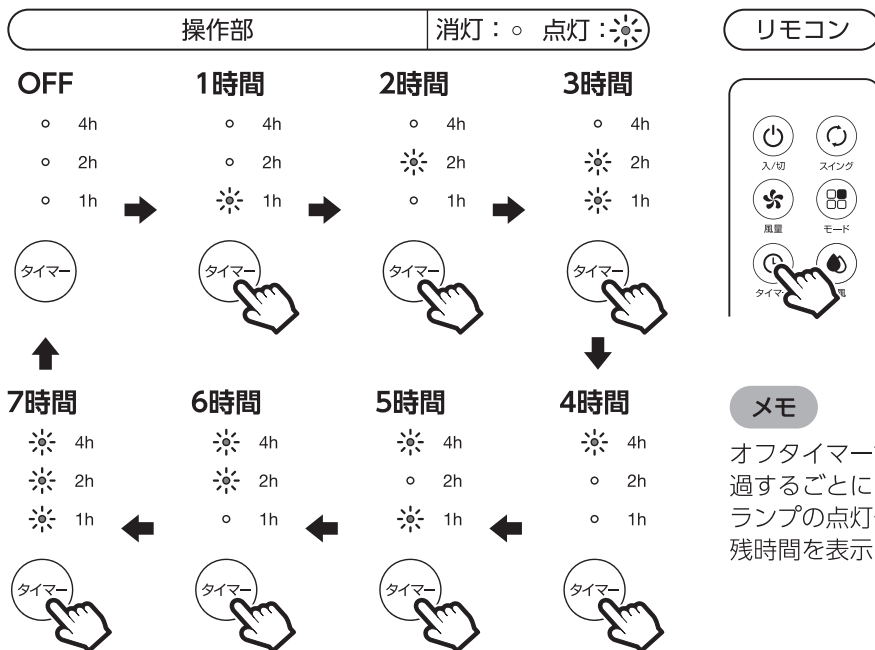
オフタイマーを使う

運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押します。

『オフタイマー』ボタンを押すごとに設定時間が切り替わり、設定時間に応じて『オフタイマー』ランプが点灯します。

1～7時間の範囲で1時間ごとに設定できます。

オフタイマーを解除する場合は、『オフタイマー』ランプが消灯するまで、本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押してください。



お手入れと保管方法

警告



必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

注意

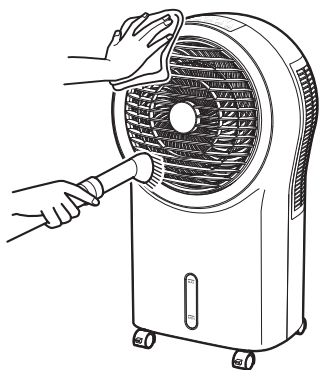


必ず守る

- 本機の性能を維持するため、2週間に1回は送風口や吸気口、通気口、フィルターのお手入れを行ってください。
- 長期間使用しない場合はお手入れ（排水含む）をしたあと、1~2時間のカラ運転（風量「強」、涼風「切」）をして本体の内部を乾かしてください。
雑菌やカビの発生を防ぎます。

■ 本体、リモコンのお手入れ

- ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。
乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをして十分に乾かしてください。
 - ・お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - ・リモコンのボタン電池は取り外してください。
- 自動スイングガードのすき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。



■ 水タンクのお手入れ

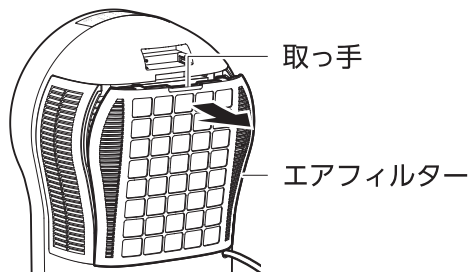
長期間使用しない場合は排水したあと、本体と同様のお手入れをしてください。
続けて使用する場合は、2~3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔にしてください。



■ 吸気口、通気口、フィルターのお手入れ

エアフィルターと吸水フィルター、フィルターカバーと通気フィルターを取り外してお手入れをしてください。

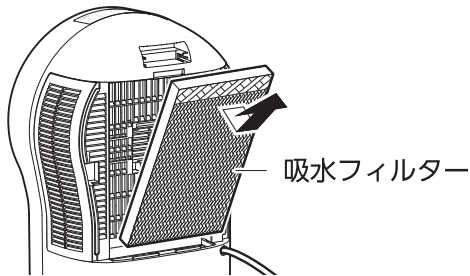
- ① エアフィルターの取っ手に指先を掛けて手前に引き、エアフィルターを取り外します。



エアフィルターのお手入れ

付着したホコリを掃除機で吸い取ってください。
汚れがひどい場合は、本体と同様のお手入れをしてください。

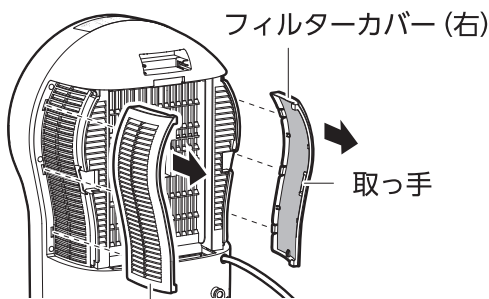
- ② 吸水フィルターを本体から取り外します。
- 上側を手前に倒してから引き抜いてください。
 - 涼風モード運転後は、吸水フィルターに水がたまっています。しばらくたってから取り外すか、浴室など濡れてもよい場所で取り外してください。



吸水フィルターのお手入れ

水洗い後、陰干しをして十分に乾かしてください。

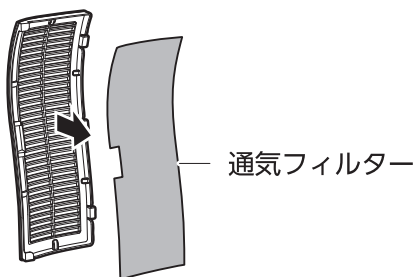
- ③ フィルターカバー(左)とフィルターカバー(右)を本体から取り外します。
- 取っ手に指先を掛けて、まっすぐ手前に引いてください。



フィルターカバーのお手入れ

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

- ④ 通気フィルターをフィルターカバー(左)とフィルターカバー(右)から取り外します。



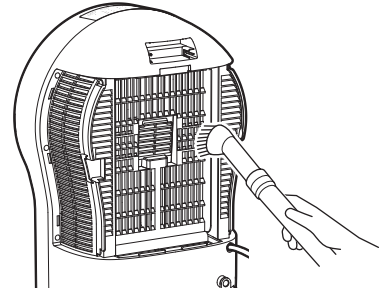
通気フィルターのお手入れ

水洗い後、陰干しをして十分に乾かしてください。

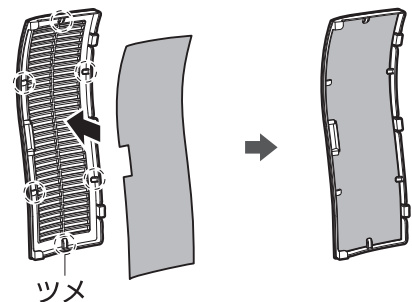
- ⑤ 吸気口と通気口のお手入れをします。

吸気口と通気口のお手入れ

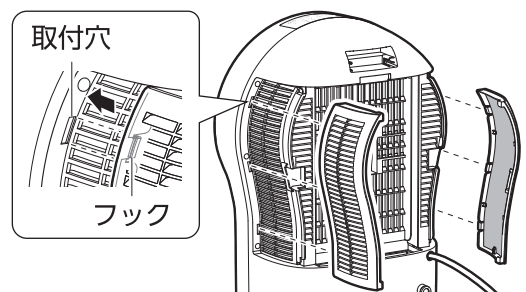
すき間にたまったホコリを掃除機で吸い取ってください。



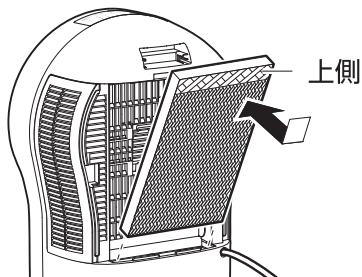
- ⑥ 通気フィルターをフィルターカバー(左)とフィルターカバー(右)に取り付けます。
- 通気フィルターとフィルターカバーを下図の向きにあわせ、通気フィルターをツメ(○部)の内側に差し込んでください。



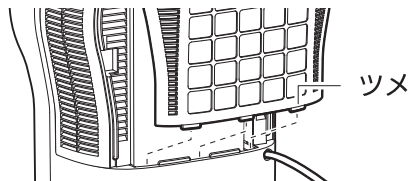
- ⑦ フィルターカバー(左)とフィルターカバー(右)を本体に取り付けます。
- フィルターカバーのフックを本体の取付穴に引っ掛けてください。



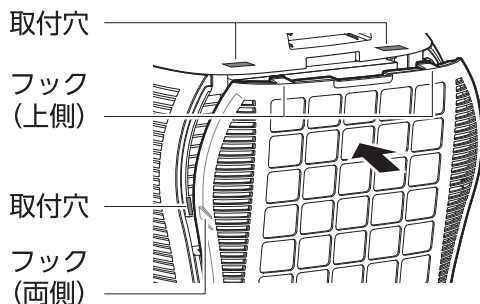
- ⑧ 吸水フィルターを本体に取り付けます。
吸水フィルターを図の向きにして下部を差し入れたあと、上側を押さえて取り付けてください。



- ⑨ エアフィルターを本体に取り付けます。
a. 下側のツメ (3か所) を引っ掛けてください。

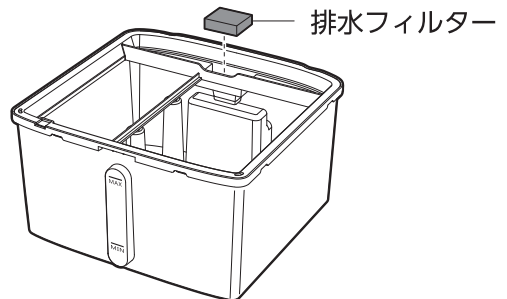


- b. エアフィルターを押さえ、上側と両側のフック (各2か所) を取付穴に引っ掛けてください。



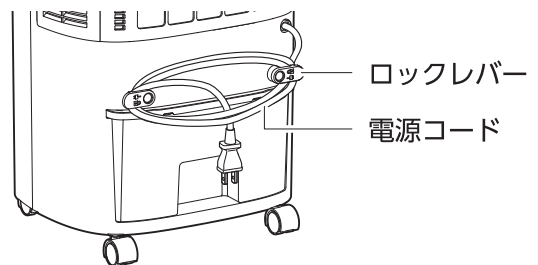
■ 排水フィルターのお手入れ

水タンクから排水フィルターを取り外し、水洗いをしてください。



■ 電源コードの収納

ロックレバーを外側に起こして、電源コードを巻き付けてください。



■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをして十分に乾かしてください。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極 (+/-) にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

製品や保冷タンクの廃棄について

製品や保冷タンクの廃棄の方法については、各地方自治体の指導に従ってください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが外れている。 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押して運転を開始してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。設定を「OFF」にするか設定を変更してください。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ボタン電池が消耗している。 ボタン電池の入れかた (+/-) が間違っている。 本体の受信部にリモコンを向けていない。またはリモコンと受信部の間に障害物がある。 本体とリモコンとの距離が離れている。 本体の受信部とリモコンの送信部が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいボタン電池に交換してください。 ボタン電池を正しい向きに入れ直してください。 障害物を取り除き、リモコンを本体に向けてください。また、誤作動などが発生する場合は、本体の設置場所を変更してください。 操作距離は直線で約5mです。操作位置または本体の設置場所を変更してください。 本体の受信部とリモコンの送信部のお手入れをしてください。
操作していないのに風量が切り替わったり、風が止まったりする	<ul style="list-style-type: none"> 自然風モード、おやすみモードで運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然風モード、おやすみモードの設定中は自動的に風量が切り替わったり、風が止まったりします。異常や故障ではありません。
涼風モードにするとブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水が無くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクに給水してください。
臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク内の水を取り替えていない。 送風口や吸気口、通気口、フィルターなどが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンク内の水は2～3日を目安に新しい水と入れ替え、内部のお手入れをしてください。 送風口や吸気口、通気口、フィルターなどの汚れのお手入れをしてください。
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> 本体が傾いて設置されている。 本体が傾いた状態で移動した。 水タンク内の水量が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。 水タンク内の水量を適正な状態にしてください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れてもファンが回らない。 ● ファンが回っても、回転が不規則に変化する。 ● 回転するときに異常な音や振動がする。 | <ul style="list-style-type: none"> ● モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがしたりする。 ● 電源コードが折れ曲がったり、溶融(変形)したりしている。 ● 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。 |
|---|--|